

第 73 回年次大会 研究発表・ポスター・製品展示の募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和 23 年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第 73 回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35 歳以下の学会員の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

期 日 2020 年 6 月 4 日(木)、5 日(金)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 北へ徒歩約 3 分)

発表募集内容 [] 内はオーガナイザー, _____(下線) はオーガナイザーリーダー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井博幸 (信州大学), 井上真理 (神戸大学), 鞠谷雄士 (東京工業大学), 近藤幹也 (東京都立産業技術研究センター), 徳山孝子 (神戸松蔭女子学院大学), 堀場洋輔 (信州大学), 丸 弘樹 (栃木県産業技術センター), 森下美樹子 (カケンテストセンター)]

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 被服心理とファッション (からだ, デザイン, マーケティング)

(b) 繊維機械の科学と工学

[喜成年泰 (金沢大学), 太田成利 (村田機械), 金田直人 (福井工業高等専門学校), 橋本欣三 (TMT マシナリー), 牧野智義 (豊田自動織機), 保田和則 (愛媛大学), 山 和史 (津田駒工業)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合織機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

[山下義裕 (福井大学)], 小野 努 (岡山大学), 金 翼 水 (信州大学), 中根幸治 (福井大学), 向井康人 (名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピニング, メルトブローン, 生体材料

(d) スマートテキスタイル

[堀 照夫 (福井大学)], 石井佑弥 (京都工芸繊維大学), 桑原教彰 (京都工芸繊維大学), 才脇直樹 (奈良女子大学), 椎木 弘 (大阪府立大学), 高橋秀也 (大阪市立大学)]

キーワード: 導伝繊維, スマート材料, 環境, 実装, 情報

(e) 環境対応技術

[豊田 宏 (太陽工業), 内丸もと子 (カラーループ), 小田涼太 (三晶), 森下あおい (滋賀県立大学)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

(f) 繊維強化複合材料

[中西康雅 (三重大学), 植松英之 (福井大学), 倉敷哲生 (大阪大学), 谷口憲彦 (アシックス), 仲井朝美 (岐阜大学)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, 複合効果, 傾斜機能, 成形加工, 接着・接合・界面

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本陽子 (神戸女子大学), 高井由佳 (大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修理・修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

2 お知らせ

(h) 染色・機能加工

[安永秀計(京都工芸繊維大学), 上坂貴宏(京都市産業技術研究所), 榎本雅穂(京都女子大学), 奥林里子(京都工芸繊維大学), 桑原里実(和洋女子大学), 解野誠司(和歌山県工業技術センター), 松原孝典(産業技術短期大学)]
キーワード: 染料/顔料/色素, 染色・加工処理剤, 新規材料合成, 染色・機能加工, デジタル染色, 超臨界染色加工, エコ染色加工, ドライブプロセス(電子線/紫外線/プラズマ), 堅ろう度向上, 廃液処理, 環境/持続社会, バイオベースマテリアル, 食品・農芸分野, ヒューマンオリエンテッド

(i) バーチャルテキスタイル

[横山敦士(京都工芸繊維大学), 若松栄史(大阪大学)]
キーワード: 繊維製品, バーチャル技術, 数値解析, CAE, CAD

(j) 産業用繊維資材および不織布

[田上秀一(福井大学), 笹山秀樹(福井県工業技術センター), 西村正樹(大阪産業技術研究所), 矢井田修(日本不織布協会)]
キーワード: 産業用繊維資材(テクニカルテキスタイル), 医療・衛生用, 工業用, 土木・建築用, 自動車用, 生活資材用, インテリア用, 寝装用, 皮革用, 二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

[藤田浩行(兵庫県立工業技術センター), 亀井孝典(鳥精機製作所), 河原喜久(帝人フロンティア), 作田光浩(東洋紡), 迫部唯行(ユニチカ), 武内俊次(京都工芸繊維大学), ニノ宮有希(東レ), 馬場武一郎(日本毛織)]
繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品、技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表(ポスターセッション)の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます(ダブルエントリーでも料金は発表1件分です)。このセッションは1日目【2020年6月4日(木)】に開催します。

3. ポスターセッション

[松岡敏生(三重県工業研究所), 勝圓進(倉敷紡績), 東山幸央(兵庫県立工業技術センター), 廣垣和正(福井大学)]
ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー(製品展示・実演も可能)があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【2020年6月4日(木)】に開催します。

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に(製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません)、2020年3月31日の時点で35歳以下の学会員(法人会員を含む)の若手発表者に限って、優秀な口頭発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション(審査対象外)へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に(製品紹介コーナーは該当しません)、2020年3月31日の時点で35歳以下の学会員(法人会員を含む)の若手発表者に限って、優秀なポスター発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月4日(木) 昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表は可能です。ただし、同じ講演題目による学術奨励賞への応募はできません。

発表申込方法

以下サイトよりWEB申込みをしてください。
URL: https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php

発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切: 2020年2月14日(金) 17時必着
原稿提出締切: 2020年4月10日(金) 17時必着

その他

- (1) 講演時間について (予定)
 - 一般講演：講演時間 20 分 (講演 15 分, 質疑応答 4 分, 次の演者との交代 1 分)
 - セッション基調講演：講演時間 40 分 (講演 35 分, 質疑 4 分, 次の演者との交代 1 分)
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み (ダブルエントリー) の場合は, 重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) 要旨集の配布は, 紙媒体 (冊子) とダウンロード方式 (期間限定) による配布を行います。
- (4) 講演要旨集の発行日: 2020 年 5 月 28 日 (木)
- (5) 原稿は, 学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き, 書式にしたがって A4 判 1 頁または 2 頁にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 頁で作成して下さい。
- (7) ポスターボードの大きさ
 - ①学術研究発表コーナー: たて 1170 mm, よこ 870 mm
 - ②製品紹介コーナー: たて 841 mm, よこ 594 mm
- (8) 参加登録費 (事前登録日以降の登録 (当日を含む) は各々 2,000 円追加)

会員種別	発表者	発表されない参加者
会 員	8,000 円 (不課税)	8,000 円 (不課税)
非会員	8,000 円 (税 別)	13,000 円 (税 別)
学生会員	3,000 円 (不課税)	3,000 円 (不課税)
学生非会員	5,000 円 (税 別)	5,000 円 (税 別)

※学生非会員の方: 学生会員の年会費は 2,000 円です。この機会にご入会ください。

- (9) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承下さい。

問合先

日本繊維機械学会 第 73 回年次大会実行委員会
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第73回年次大会 実行委員会

- | | | |
|-------|--------------------|------------------------|
| 実行委員長 | 山本 貴則 (大阪産業技術研究所) | 田上 秀一 (福井大学) |
| 副委員長 | 小野 努 (岡山大学) | 井上 真理 (神戸大学) |
| 実行委員 | 橋本 欣三 (TMTマシナリー) | 植松 英之 (福井大学) |
| | 石井 佑弥 (京都工芸繊維大学) | 榎本 雅穂 (京都女子大学) |
| | 上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所) | 岡本 陽子 (神戸女子大学) |
| | 内丸もと子 (カラーグループ) | 小田 涼太 (三晶) |
| | 太田 成利 (村田機械) | 金井 博幸 (信州大学) |
| | 奥林 里子 (京都工芸繊維大学) | 亀井 孝典 (島精機製作所) |
| | 勝圓 進 (倉敷紡績) | 鞠谷 雄士 (東京工業大学) |
| | 金田 直人 (福井工業高等専門学校) | 金 翼 水 (信州大学) |
| | 河原 喜久 (帝人フロンティア) | 桑原 教彰 (京都工芸繊維大学) |
| | 喜成 年泰 (金沢大学) | 近藤 幹也 (東京都立産業技術研究センター) |
| | 倉敷 哲生 (大阪大学) | 作田 光浩 (東洋紡) |
| | 桑原 里実 (和洋女子大学) | 笹山 秀樹 (福井県工業技術センター) |
| | 才脇 直樹 (奈良女子大学) | 高井 由佳 (大阪産業大学) |
| | 迫部 唯行 (ユニチカ) | 武内 俊次 (京都工芸繊維大学) |
| | 椎木 弘 (大阪府立大学) | 解野 誠司 (和歌山県工業技術センター) |
| | 高橋 秀也 (大阪市立大学) | 豊田 宏 (太陽工業) |
| | 谷口 憲彦 (アシックス) | 中根 幸治 (福井大学) |
| | 徳山 孝子 (神戸松蔭女子学院大学) | 二ノ宮有希 (東レ) |
| | 中西 康雅 (三重大学) | 東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター) |
| | 西村 正樹 (大阪産業技術研究所) | 藤田 浩行 (兵庫県立工業技術センター) |
| | 馬場武一郎 (日本毛織) | 堀場 洋輔 (信州大学) |
| | 廣垣 和正 (福井大学) | 松岡 敏生 (三重県工業研究所) |
| | 堀 照夫 (福井大学) | 丸 弘樹 (栃木県産業技術センター) |
| | 牧野 智義 (豊田自動織機) | 森下あおい (滋賀県立大学) |
| | 松原 孝典 (産業技術短期大学) | 保田 和則 (愛媛大学) |
| | 向井 康人 (名古屋大学) | 山 和史 (津田駒工業) |
| | 矢井田 修 (日本不織布協会) | 横山 敦士 (京都工芸繊維大学) |
| | 安永 秀計 (京都工芸繊維大学) | |
| | 山下 義裕 (福井大学) | |
| | 若松 栄史 (大阪大学) | |

論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) 年次大会特集号原稿募集

ジャーナル編集委員会では年次大会特集号の発行を計画しております。本学会では現在、論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) を隔月で刊行しており、Original Paper, Short Paper, Review, Technical Report それぞれのカテゴリーの論文を掲載しています。特集号では、このうちの Original Paper と Short Paper として掲載できる研究論文を募集します。

Original Paper は、繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 8 頁以内です。Short Paper は Original Paper と同様に未刊行の内容ですが、理論・実験・技術における新しい進歩を速報するための論文です。将来において充実した論文に完成させることを前提としたもので、原稿の長さは、原則として刷り上がり 4 頁以内です。

この特集号では、第 73 回年次大会（2020 年 6 月 4 日、5 日開催）において研究発表を行う皆様を対象に、投稿希望の有無を申請いただき、通常と同じ査読審査をより迅速に行うことで年次大会特集号に論文を掲載するものです。本特集号が、最新の繊維関連研究を俯瞰できる内容となることを意図しております。

本特集号に論文の掲載を希望される方は、学会の論文投稿規定に従って作成し期日までにご提出ください。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

【原稿種別】 Original paper と Short paper

【投稿期日】 2020 年 5 月中旬

【掲載費用（別刷り料金）】 有料

【発行予定】 第 66 巻, 第 5 号 (2020 年 10 月発行予定)

ジャーナル編集委員会

委員長	保田 和則 (愛媛大学)	
副委員長	金井 博幸 (信州大学)	小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)
	向井 康人 (名古屋大学)	
編集委員	上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)	植松 英之 (福井大学)
	金田 直人 (福井工業高等専門学校)	坂口 明男 (信州大学)
	廣垣 和正 (福井大学)	松岡 敏生 (三重県工業研究所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	山下 義裕 (福井大学)
	山本 貴則 (大阪産業技術研究所)	山本 剛宏 (大阪電気通信大学)
	與倉 弘子 (滋賀大学)	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)

2020 学術ミキサー（繊維系 3 学会共催）

新年を迎えるにあたり、繊維関連の3学会（日本繊維機械学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会）共催による「2020 学術ミキサー」を大阪で開催いたします。3学会共催による開催も6年目となりました。

今回は、株式会社アシックス 取締役 西脇剛史氏に「繊維が創るスポーツ健康社会」と題してご講演いただきます。

(株)アシックスは、神戸で創業した鬼塚(株)が原点であり、プロ・アマに限らずアスリートたちの願いに応えるべく、構造開発のみならず、ソールなどの材料開発を自社で行い、バイオメカニクス (= 生体力学) に基づいて高機能・高性能のスポーツ用品・アパレルの開発に力を入れている企業です。

西脇氏は、大学時代は高分子化学を専攻され、スポーツ工学研究所に配属、スポーツ工学研究所所長、執行役員を歴任され、現在取締役として、中国部門を担当しておられます。また日本繊維機械学会の副会長、フェローでもあります。トップアスリートのみならず、アマチュアの人たちが安全にスポーツを楽しむことができるようにすることが大事、といつもおっしゃっています。ご講演では、SDGs で謳われている健康の観点でも大事な位置を占めるスポーツと、繊維のかかわりについてお話いただきます。

交流会では、平素よりご支援、ご指導をいただいております大学、研究機関、企業の方々、ならびにご厚誼をいただいております関連団体の方々との間で情報交換をいただきながら、3学会の会員同士の連携や繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

期 日 2020年1月24日(金) 14.30~17.00 (受付 14.00~)

会 場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

共 催 日本繊維機械学会, 繊維学会, 日本繊維製品消費科学会

内 容 予定

14.30~14.45 3学会の役員挨拶

14.45~15.45 講演「繊維が創るスポーツ健康社会」

..... (株)アシックス 取締役・フェロー 西脇剛史
ラグビーワールドカップ, 東京オリンピック・パラリンピック, ワールドマスターズゲームズ関西と世界規模のスポーツ大会が国内で連続開催される昨今は、スポーツをより身近に感じることができる貴重な機会と言える。こういった背景を受けて開発されるスポーツ製品は、アスリートのみならず、スポーツを楽しむすべてのの方々のライフスタイルを豊かにするミッションを負う。このため、主たる構成要素である繊維が果たすべき役割は大きい。本報告では、スポーツ用品の開発を通じ、健康社会への繊維の貢献について報告する。

15.45~17.00 交流会 (軽食, 無料)

参加費 3,000円 (税別)

定 員 70名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

申 込 「2020 学術ミキサー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

以下サイトより WEB 申込みができます。

https://tmsj-orjp.sslwww.jp/lecture/20200124_mixer/entry_lecture.php

申込先 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を一昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	開催済	1. 「組物」(0.5日)
		開催済	2. 「織物」(1日)
		開催済	3. 「編物」(1日)
		開催済	4. 「不織布」(1日)
		開催済	5. 「染色加工(基礎)」(1日)
		開催済	6. 「染色加工(実務と応用)」(2日)
	製 品	2/7(金)	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		開催済	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		開催済	3. 「実習:感性評価のための布特性」(1日)
		2/4(火)	4. 「資材用繊維」(1日)
		3/9(月)	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ

「資材用繊維」

近年、化学繊維は自動車や建築・土木用途などの“産業資材”，そしてカーペットやオムツなどの“衛生・生活資材”といった「資材用繊維」としての利用割合が増大しています。その一方、それぞれの分野で新しい施工法や利用法が開発されるとともに、その用途に応じて要求される機能や性能も異なるため、資材用繊維素材の開発は高度化しています。また、資材用繊維製品の多様化、利用量の増大に伴い、使用後の回収や処理が課題とされるようになってきました。

そこで本講座では、産業資材用繊維に注目し、その種類や機能、性質、そして製法などの基礎について講義します。また、「自動車」「土木・建築」「水産」という産業資材の中核をなす分野については、それぞれの用途で求められる機能や性能について実例をもとに説明します。さらに、使用済み繊維の回収の仕組みやその処理技術についても講義します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2020年2月4日(火) 10.00～16.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 資材用繊維概論（分類／機能／性質／繊維形態・構造体／製法など）
 福井大学 繊維・マテリアル研究センター 教授 田上 秀一

11.10～12.10

(2) 資材用繊維の用途と機能

2-1 自動車分野

..... トヨタ紡織(株) 繊維開発生技部 繊維技術室 統括企画 G 主担当員 日置 伸二

13.10～14.10

2-2 土木・建築分野

..... キョーワ(株) 開発・技術部 本部長 梶原 幸治

14.20～15.20

2-3 水産分野

..... ユニチカ(株) 産業繊維事業部長 迫部 唯行

15.30～16.30

(3) 資材用繊維と環境（使用済み繊維の回収・廃棄等の現状、そしてリサイクルなどの技術について）
 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ資材用繊維」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「アパレル製品設計の基本」

最終製品としてのアパレルの製造とその性能、性能試験法、企画設計に関わる流行について学びます。

アパレルは、人のサイズや体型に合わせて作られ、着用時に必要な性能、耐久性を備えて製品として販売されます。その時代の流行にあわせて企画デザインすることも必要です。さらに現代の生活の中では、地球環境規模、有限の資源を前提として、生活する人間の健康を踏まえ、より豊かな、安全な、美しい外観の、快適な着心地が得られるアパレルを設計することが望まれています。

消費者には、その人にとって魅力的な着想を考え、適正な取り扱いをして長く着ていくとともにリサイクルと廃棄について最適なアパレルを選択することが望まれます。時代とともにアパレルに対する消費者の意識も変化していく中、アパレル製品を企画設計するうえで必要な知識を身につけると共に、これからの時代に求められる製品設計のための一助になると考えます。

基礎から解説いたしますので、材料展開をはかる営業の方、販売の方々もご聴講ください。

期 日 2020年2月7日(金) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～10.30

(1) 概論

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理
1970年代、80年代のアパレル用布地と現在用いられている布地とを比較してみると随分様変わりしました。海外から価格の安い製品が多く入ってくる中、日本国内の生産現場の事情も大きく変化しています。そのような背景の下で、本テキスタイルカレッジの流れを概説します。

10.30～11.10

(2) 人体と衣料サイズ

..... 元(株)ダーバン、相馬技術士事務所 相馬 成男
アパレル企業が、身体にフィットした衣服を企画・設計して製造するためには、ターゲットとする人体の寸法と形のデータが必要です。また、消費者は衣服購入時にサイズを必ず確認します。ここでは、人体計測法とJIS衣料サイズシステムの基礎および現在検討が進められています衣料サイズ国際標準化の動きについて講義をします。

11.20～12.00

(3) パターンメイキング・グレーディングの基礎

..... 元(株)ダーバン、相馬技術士事務所 相馬 成男
デザイン画をもとに、アパレルの製品化させるために、パターンメイキングすなわち型紙の作成がなされます。原型の作成からデザインパターンへの展開、プロダクトパターンの作成について説明します。また、基準サイズからの他のサイズへの展開であるグレーディングについても説明します。

13.00～14.20

(4) アパレル製造工程

..... 元(株)ダーバン、相馬技術士事務所 相馬 成男
デフレ経済という時代の流れと共に、日本のアパレル業界は、生産の多くを海外シフトし、いつの間にか日本国内で生産現場に接する機会は激減してしまいました。現場を知る事は、商品としての付加価値を理解する為にも非常に大切な事です。あらためてアパレル製品の企画立案から物づくりの一連の流れを、時間軸をベースに説明します。

14.30～15.10

(5) 布の実用性能

..... (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 堀江ラボ 試験グループリーダー 森 秀樹
アパレル製品を作成する時の基本として、生地選びの際の基本性能確認とも言える、染色堅ろう度試験や物性試験及び安全性確認としてのホルムアルデヒド試験、生地素材の混用率試験の簡単な説明と、代表的な機能性試験を説明します。

15.20~16.00

(6) 商品表示と品質保証（衣料品の事故事例）

……………(一財) ボーケン品質評価機構 大阪試験センター 試験課 係長 椎葉竜太郎
 商品に付記する表示は、その商品情報を消費者に正確に伝えるために重要なもので、商品の顔と言っても過言ではありません。商品表示の種類と役割について簡単に説明します。また、より良いものづくりの参考に、実際に発生した衣料品の事故事例を紹介し、その原因について説明します。

16.00~17.00

(7) 流行の周期「人の感性がつくる流行の周期」

……………(株)感性リサーチ 研究員 手塚 祐基
 大好きだった去年の服が、今はもう着たくない。そんな気持ちになったことはないだろうか？実は、「良いもの」が永久に良いわけではない。好き嫌いの判断も変化してしまうのだ。ある周期で変化する人の感性について知ろう。◇流行はなぜ起こる？商品やブランドの寿命は？◇感性の変化を新商品開発や営業に活かすには？

協賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

定員 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

申込 「テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の品質管理と品質保証」

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、元 TMT マシナリー(株)の中田様、津田駒工業(株)、京都工芸繊維大学の武内様から解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 2020年3月9日(月) 9.30～17.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

9.30～10.30

(1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明

……………(一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 部長代理 中根 勲

10.40～11.40

(2) 機能性試験の内容と評価基準

……………元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

11.50～12.50

(3) 製品クレームの事象と対策例

……………(一財)ボーケン品質評価機構 大阪試験センター 試験課 係長 椎葉竜太郎

13.40～14.40

(4) 溶融紡糸工程における品質欠点と最終製品への影響

……………元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所 代表 中田 賢一

14.50～15.50

(5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

……………村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

16.00～16.50

(6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………津田駒工業(株) 繊維機械技術部 参与 伴場 秀樹

17.00～17.50

(7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内 俊次

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

2020 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

2020 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおよそ 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を 2020 年 1 月 27 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

提出書類 次の書類を 2 部（正 1 部、副 1 部、副は複写も可）提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい）
- (2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など）

選考方法 (1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について、二次選考（現地調査）を行います。

- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切 2020 年 1 月 27 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

参考資料 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・ 2017 年度受賞技術

「柔らか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭
..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二
..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

・ 2018 年度受賞技術

「環境に優しい高耐久防汚加工技術」

..... 東レ(株) 竹下 将太, 柄澤 留美, 小森 晋也, 大塚亜津希, 竹田 恵司

「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構」

..... 村田機械(株) 梅原 嘉人, 谷川 保伸, 牟田 勝文, 竝川 哲也

・ 2019 年度受賞技術

「低強度運動用ブラの開発」

..... (株)アシックス 瀧井 靖歩, 森 洋人, 角 奈那子

「暑熱環境下での作業リスク管理システムの開発」

..... 倉敷紡績(株) 藤尾 宜範, 原 泰明, 大月 昌也, 松雪 遼

..... 大阪大学 中江 悟司, 清野 健

..... 信州大学 金井 博幸

創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

2. 応募資格

2019 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

5. 応募の締め切り

2020 年 2 月 3 日(月) 必着

6. 選考結果の発表

2020 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

7. 表彰

2020 年度の年次大会 2 日目に、学会賞授与式を開催します。

賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

2020 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

2020 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、2020 年 2 月 3 日(月) 必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTE に掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
 - (3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず 400 字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL: 06-6443-4691, FAX: 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長	倉敷 哲生 (大阪大学)		
副委員長	杉山 研志 (TMT マシナリー)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	堀場 洋輔 (信州大学)
企画委員	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	秋月 健司 (東レ)	内丸もと子 (カラーループ)
	小川 敦久 (クラレ)	奥野 智朗 (住江織物)	小野 努 (岡山大学)
	梶原 幸治 (キョーワ)	勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)	齋藤 寿叙 (カケンテストセンター)
	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)
	竹本由美子 (武庫川女子大学)	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)
	西田 裕紀 (関西ファッション連合)	野田 博丈 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)
	林 久秋 (豊田自動織機)	深沢太香子 (京都教育大学)	福多 晴子 (カトーテック)
	藤井 智成 (津田駒工業)	本田 元志 (京都市産業技術研究所)	松原 孝典 (産業技術短期大学)
	森 洋人 (アシックス)	森島 英暢 (倉敷紡績)	安井 章文 (東洋紡)
	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)	山田由佳子 (大阪教育大学)	
アドバイザー	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松崎 健 (ミズノ)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

2020 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、2020 年 2 月 28 日(金)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

日本繊維機械学会フェロー規程

目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

称号の喪失

第 9 条 次のいずれか 1 つに称号認定者が該当するとき、その称号を失う。

- (1) 本人から申し出があったとき。
- (2) 本会の会員資格を失ったとき。

附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。
4. 本規定は平成 30 年 11 月 10 日より実施する。

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名(理事)

副委員長 1名(理事)

委員 3名(委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

2020年度日本繊維機械学会賞「論文賞」 推薦委員募集

日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

申込 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先(電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、⑤専門分野を明記の上、2020年1月17日(金)までに、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

申込先 日本繊維機械学会論文賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

東海支部 材料表面改質トリアルコア講演会

期 日 2020年1月27日(月) 13.00~14.30

会 場 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター (一宮市大和町馬引字宮浦 35)

内 容

「超短パルスレーザーによる表面への機能的テクスチャの付与技術」(13.00~14.30)

信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 バイオエンジニアリングコース 教授 山口昌樹

共 催 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター, 日本繊維機械学会東海支部, 一宮地場産業ファッションデザインセンター, 愛知県繊維振興協会

参加費 無料

問合せ・申込先 氏名, 所属, 連絡先を明記し, FAX.058645-0509 または電子メール E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp にてお申込みください。電話: 0586-45-7871

協賛行事 東海支部協賛行事 2019 東海シンポジウム 「SDGs と高分子科学」

期 日 2020年1月23日(木), 24日(金)

会 場 名古屋国際会議場 (名古屋市熱田区熱田西町 1-1)

主 催 高分子学会東海支部

その他 詳細は HP (<http://www.c-goudou.org/announce/an04spsj04.html>) をご参照下さい。

協賛行事 第106回講演見学会「繊維技術・利用の最先端: ミズノテクニクス(株)・浅野撚糸(株)の取り組み」

期 日 2020年1月9日(木) 12.15~17.45

見学先 ミズノテクニクス(株), 浅野撚糸(株)

主 催 化学工学会東海支部

内 容 詳細は HP (<http://scej-tokai.org/>) をご参照下さい。

協力行事 **TexComp14** (International Conference on Textile Composites)

TexComp は、テキスタイル複合材料に特化した国際会議です。TexComp カンファレンスは、1992年にルーヴェンで Verpoest 教授のイニシアチブによって開始され、前回（第13回）はミラノ工科大学（イタリア）にて実施し、89件の講演、92名（20カ国）の参加がありました。第14回は2020年9月14日(月)～16日(水)、京都工芸繊維大学にて開催します。この会議では、さまざまな分野で活躍する科学者とエンジニアを結び付けることで、テキスタイルとその複合材料の最近の進歩に関する議論と報告のための場を提供しています。皆様からの発表ならびに参加申込みをお待ちしております。

期 日 2020年9月14日(月)～16日(水)

会 場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町）

Important Dates

Deadline for abstract submission (max 400 words) : 17 January 2020

Notification of acceptance sent to authors : 21 February 2020

Deadline for submission of 8-page papers: 2 April 2020

Deadline for conference registration early bird : 1 June 2020

問合せ texcomp14@mit.eng.osaka-u.ac.jp

その他 詳細は TexComp14HP (<http://tmsj.or.jp/texcomp14/index.html>) をご確認ください。

committees

Co-Chairs Asami Nakai (Gifu University, Japan)

Tetsusei Kurashiki (Osaka University, Japan)

Secretariat Akio Ohtani (Kyoto Institute of Technology, Japan)

Yasumasa Nakanishi (Mie University, Japan)

Local Scientific committee

Masamichi Kawai (University of Tsukuba, Japan)

Toshiyasu Kinari (Kanazawa University, Japan)

Masayuki Kitamura (Hokuriku Fiber Glass Co.,Ltd., Japan)

Masato Nishi (JSOL Corp., Japan)

Kazuya Okubo (Doshisha University, Japan)

Tatsuo Sakakibara (ITOCHU Techno-Solutions Corporation, Japan)

Tadashi Uozumi (Murata Machinery, LTD., Japan)

Tomohiro Yokozeki (University of Tokyo, Japan)

International Scientific committee

Suresh Advani (University of Delaware, USA)

Remko Akkerman (University of Twente, The Netherlands)

Alex Bogdanovich (USA)

Christophe Binetruy (Ecole Centrale de Nantes, France)

Francois Boussu (ENSAIT, France)

Valter Carvelli (Politecnico di Milano, Italy)

Julie Chen (University of Massachusetts Lowell, USA)

Tsu-Wei Chou (University of Delaware, USA)

Dominique Coupe (Safran Group, France)

Brian Cox (USA)

Thomas Gries (ITA, Germany)

Frank Ko (University of British Columbia, Canada)

Stepan Lomov (KU Leuven, Belgium)

Andrew Long (University of Nottingham, UK)

Alfred Loos (Michigan State University, USA)

Asami Nakai (Gifu University, Japan)

Ignas Verpoest (KU Leuven, Belgium)

Masaru Zako (Osaka University, Japan)

お知らせ FMC1月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の1月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくはFMCのホームページ（http://www.geocities.jp/fmc_webpage/）をご参照下さい。

期 日 2020年1月10日(金) 18.15～20.00

会 場 大阪産業創造館 5F 研修室 AB（大阪市中央区本町 1-4-5）

内 容 サステナビリティがキーワード 20年秋冬ファッション傾向を探る

大きく舵をきったファッショントレンド。よりエレガントにミニマルスタイルへ移行。

世界の潮流はサステナビリティ、こうしたキーワードを踏まえた素材開発が20年秋冬ファッションの特徴です。シンプル志向やレトロムードを新鮮にモダンに表現するキーポイントにもなっています。また、次世代（ミレニアル世代）に向けて提案するファッションライフ、購買行動を分析し始めた多くの企業、こうした取り組みの現状をファッションを通して考える。

講 師 ファッションディレクター、(株)TCカンパニー代表 十三 千鶴

参加費 ビジター会員 2,000円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年11回のセミナー（10月は見学会）に無料で参加できます。年会費12,000円でどなたでも会員になれます。]

申 込 「FMC1月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話またはFAX番号をご記入の上、1月6日（木）までにE-mailにてお申し込み下さい。

申込先 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC事務局
E-mail : fmc.office.mail@gmail.com

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平（椋山女学園大学）	伊藤 博（イトービーイーオフィス）	今田 邦彦（今田技術士事務所）
運営委員	荒木 聰之（住友ケムテック）	大島 直久（日本染色協会）	高橋 正志（日阪製作所）
	上坂 貴宏（京都市産業技術研究所）	岡田 倫子（滋賀県東北部工業技術センター）	奥林 里子（京都工芸繊維大学）
	榎本 雅穂（京都女子大学）	改森 道信（改森技術士事務所）	金崎 英夫（金崎技術士事務所）
	越智 清一（元繊維評価技術協議会）	嶋田幸二郎（嶋田技術士事務所）	解野 誠司（和歌山県工業技術センター）
	桑原 里実（和洋女子大学）	橋本 嘉顯（東洋紡カンキョーテクノ）	廣垣 和正（福井大学）
	長澤 則夫（元日本羊毛産業協会）	森本 國宏（森本技術士事務所）	安永 秀計（京都工芸繊維大学）
	松原 孝典（産業技術短期大学）		
	吉川 雅敏（繊維評価技術協議会）		

お知らせ 日本繊維機械学会フェロー会 「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では、2008年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。日本繊維機械学会フェローとは、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です。2012年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました。社会貢献を目的として、日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております。

日本繊維機械学会フェロー会の活動

1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に、繊維のすばらしさを伝える目的で行っています。繊維のすばらしさを伝える伝道師として、フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して、赤色のブルゾンを身につけ、子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています。

過去の開催内容は学会HPのフェロー会ページ (<http://tmsj.or.jp/fellow/report.html>) で閲覧できます。

2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として、フェローに成功と失敗談、光と影の部分を腹藏なく語っていただく講演会です。また、学会行事と連携して基礎講座も行います。

3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています。相談事項がございましたら学会HPのフェロー会ページ (http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html) の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき、相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください。相談内容は関係者以外には秘密保持致します。内容によっては相談に応じられない場合が有ります。なお、内容によっては費用が発生する場合があります。

4. 出前講義

小、中、高等学校から一般の方々、企業を対象に繊維に関する出前講義を行います。出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください。

問合せ先 日本繊維機械学会フェロー会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL 06-6443-4691, FAX 06-6443-4694

E-mail : info@tmsj.or.jp

お知らせ 日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に、日本繊維機械学会のFacebookページを2018年7月に開設しました。最新情報や開催行事報告等を、お伝えします。

すでにフェイスブックをお使いの方は、ぜひ「いいね！」をお願いします。

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

委員 長	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)		
委 員	中西 康雅 (三重大学)	保田 和則 (愛媛大学)	山下 義裕 (福井大学)
	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)	若子 倫菜 (金沢大学)	

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	白谷喜世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（新パーソナルカラー®協会 理事）
	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）
	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）